

## 第3学年 国語科学習指導案

勝山市立村岡小学校

### 1 教材名 きせつの言葉③「秋の楽しみ」

### 2 教材の目標

- (1) 秋の行事に興味を持ち、秋に関わる言葉を見つけようとしている。【関心・意欲・態度】
- (2) 秋に関わる言葉を集めて、簡単な文章を書く事ができる。【書くこと(1)ア】
- (3) 新聞記事や身の回りから探した言葉を分類したり意味を調べたりする事で、語句を増やす事ができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(オ)】

### 3 教材について

本教材「秋の楽しみ」は、1年をとおして学習する「季節の言葉」の一つである。「季節の言葉」では、第2学年から第6学年までの中でそれぞれの学年にふさわしいテーマが設定されており、3年生では1年をとおして、季節の行事を取り上げている。

「秋の楽しみ」では、「月見」「秋の七草」が取り上げられており、ほかにもテーマに関わる唱歌「うさぎ」や俳句が掲載されている。「うさぎ」は、音楽の学習でも取り上げられており、教科間の連携による相乗効果も期待される教材である。また、季節の行事・現象・風物などを表す言葉も取り上げられ、日々の生活と季節とのつながりにも目が向くように配慮された教材である。

### 4 指導について

- (1) 「秋の行事に興味を持ち、秋に関わる言葉を見つけようとする」ために

「秋の楽しみ」の学習に入る以前から、新聞記事の中から「秋」をイメージする記事を切り抜きし、感想を書く活動を行ってきた。朝学習の時間に児童同士の感想の交流を行った後、児童が選んだ記事の中から教師のおすすめの記事を紹介し、内容について解説を加えてきた。内容の理解が深まる事で、記事に対する興味関心も深まり、自分が気付かなかった事象への興味関心が高まると考えられる。

本教材では、「〇〇の秋をしょうかいしよう」という活動を設定し、秋の様子を伝え合う活動を行う。自分で集めた新聞記事などからおすすめの「〇〇の秋」を紹介する文章を書く活動を行う。自分の思いを伝えるために文章を考えたり、他の児童が集めた新聞記事を見たり体験を聞いたりすることで、秋の行事・言葉への児童の関心が高まると考えられる。

- (2) 「秋に関わる言葉を集めて、簡単な文章を書く」ために

第1時では、今までの体験や集めた新聞記事から、秋のイメージを挙げさせる。そして「秋」という言葉からイメージされることがたくさんあることを実感させたい。紹介する題材は自分で切り抜きをした新聞記事の中から選ばせるが、自分が持っている写真や絵を紹介したい思いが強い児童には、写真や絵でもよいことを伝える。

本時では、集めた新聞記事等の中から、自分が紹介したいことの紹介文を書いていく。まず第1時で出された言葉を大まかに仲間分けし、「〇〇の秋」の言葉を全員で考えてみる。次に、完成見本を示し、完成のイメージをつかませてから記事選びをさせる。そして、紹介文を書

いていくが、紹介文には、秋を感じさせる言葉を入れるなど書く事柄を確認してから、文作りに取り組ませる。なかなか書き出せない児童に対しては、T2と協力して個別に助言する。読みの難しい言葉は読みを教え、意味が分からない語句については、辞書で調べるようにさせる。新聞記事を使うことで、文章を書くのが苦手な児童には見出しや記事に書かれた言葉がヒントになり、文章を書き始めやすくなると考えられる。また、文章を書くことが得意な児童には、次々と紹介する記事を選ぶことができ、書いていく楽しさが出てくると思われる。

(3) 「語彙を増やす」ために

意味の難しい言葉などは、その都度国語辞典を使って意味を調べるようにする。第3時では、自然、食べ物など第2時で仲間分けした言葉ごとに発表させていく。発表の中では、自分は「カキ」の記事を「食欲の秋」ということで紹介をしたが、友だちは「実りの秋」という紹介をしたなどの違いが出ると思われる。そこから、同じ題材を見ても感じ方が違うこと、いろいろならえ方があることを知ることができる。そして、語彙を増やすことにつながっていくと思われる。

5 単元の指導計画（総時間数3時間）

別紙参照

6 本時の目標

新聞記事（写真、絵）から選んだ紹介したい秋について、伝えたい内容を簡単な文章に書く事ができる。

7 準備物

新聞記事（写真、絵）、ワークシート、国語辞典、のり

8 本時の学習過程（本時2/3）

時間	学習活動	教師の支援(☆ICT支援)と評価	
		T1	T2
0	1 本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「〇〇の秋」について、しょうかい文を書こう</div>		
3	2 前時に出た言葉を仲間分けし、紹介したい「〇〇の秋」を考える。 ・「カキ」は、「食欲の秋」にしよう。 ・「七五三」は、「行事の秋」にしよう。	・教師が作成した紹介文の見本を見せ、完成のイメージをもたせ、紹介文の最初の文に「〇〇の秋」の言葉を入れることを伝える。	☆完成見本を画面に映す。
8	3 集めた新聞記事などをもとに、紹介したい題材を選ぶ。 ・稲刈りの記事にしよう。 ・サツマイモを掘っているのが楽しそうがいいな。	・難しい言葉の読み方を教える。	・難しい言葉の読み方を教える。

15	<p>4 自分が選んだ題材について、紹介文を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい秋を紹介します。大野市で秋の味アジメドジョウの給食がありました。やわらかくて、とてもおいしいそうです。</li> <li>・オレンジ色の秋を紹介します。わたしは干し柿を食べたことがあります。甘くておいしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介文の書き方について、4点を確認する。</li> <li>①2～3文を書くこと</li> <li>②紹介文は、記事の内容をまとめたものでも、自分の体験から思った事でもよいこと</li> <li>③秋を感じる言葉を入れること</li> <li>④時間があれば、紹介文をいくつ書いてもよいこと</li> <li>・主に前列の児童から、個別指導をしていく。</li> <li>・書き始められない児童には、新聞の見出しを参考に紹介文を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆完成見本を画面に映す。</li> <li>・主に後列の児童から、個別指導をしていく。</li> <li>・書き始められない児童には、新聞の見出しを参考に紹介文を考えさせる。</li> </ul>
<p><b>【書くこと】</b> 自分が選んだ題材の伝えたい内容を、簡単な文章に書くことができる。（観察・ワークシート）</p>			
30	<p>5 紹介文を、班で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りの秋を紹介します。大勢の人がおみこしを担いでいます。とても賑やかな感じがします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班内発表は、班の①番の人から順にさせる</li> <li>・発表を聞き終わったら、感想を言ったり質問をしたりしてもいいことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く態度を指導する</li> </ul>
40	<p>6 振り返りを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容をまとめるのに、どんなことに気がつけたか、友だちの発表を聞いての感想などを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く態度を指導する</li> </ul>

9 授業の観点

伝えたい内容についての簡単な文章を書くために、新聞記事を使ったことは効果的であったか。

10 反省

11 ご高評

言語活動例： 自分の見つけた「〇〇の秋」を紹介しよう

重点化	指導事項	次	時	評価基準	支援及び留意点
◎	<p>伝国イ (オ)</p> <p>表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。</p>	一	1	<p>身の回りから秋の言葉を見つけてよう</p> <p>身の回りや新聞記事から秋の言葉や行事を見つけて。</p> <p>新聞記事の中から秋の行事や秋の言葉を見つけて、おすすめの「〇〇の秋」を書くことを知る。</p> <p>「〇〇の秋」について紹介文を書こう</p>	<p>身の回りのことや、経験を想起させたり、教科書の挿絵を見たりしながら、多くの言葉を出させるようにする。</p> <p>新聞記事を探すことに対して意欲を持たせるために、児童が興味を持ちそうな記事を示す。</p> <p>新聞記事を探す時間を十分に確保する。</p>
		二	2 (本時)	<p>新聞や自分の体験から、自分の興味のある事柄を選び、おすすめの「〇〇の秋」を簡単な文章で書くことができる。(観察、ワークシート)</p>	<p>おすすめの「〇〇の秋」の見本を見せ、完成のイメージを持たせる。</p> <p>紹介文を書く時には、新聞の見出しや記事を参考にさせる。</p> <p>一般的な「食欲の秋」「スポーツの秋」という題名にするのではなく、「〇〇がおいしい秋」など、児童が感じたことをそのまま言葉にすればよいことを伝える。</p> <p>IT を活用し、なかなか書き出せない児童には書き出しのヒントを与えるなど、個別に支援する。</p>
		三	3	<p>発表を聞いて、秋に関わる言葉を見つけてようとしていいる。(態度、発言)</p> <p>国意味の分からない言葉を辞典で調べていいる。(ワークシート)</p>	<p>仲間分けした事柄ごとに、紹介文を発表させる。</p> <p>紹介文の中で重要な語句の意味を聞き、はっきり意味を答えられない言葉は、意味を調べさせる。</p>

秋の言葉や行事に興味を持ち、進んで見つけてようとしている。

国語への関心・意欲・態度に関する評価